

西暦 2021年6月3日

当院に通院中あるいは通院されたことがある患者さんまたは当院で実施した研究に参加された患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当診療科では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究及び治療で得られた試料及び情報（以下、臨床情報という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

臨床情報の利用停止のほか、この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、「⑤ お問い合わせ先」へご連絡ください。

研究名：腹部大動脈瘤発症における中心血圧と心エコー指標の関連性

研究実施期間：倫理審査委員会承認日 ～ 西暦 2022年 4月 30日

山形大学医学部倫理審査委員会承認番号：2021-95号

（承認日 西暦2021年6月3日）

① 対象となる患者さん（研究の目的、臨床情報の利用目的及び利用方法）

目的：腹部大動脈瘤（AAA）は自覚症状に乏しく、ひとたび破裂をきたすとしばしば致死的となる重篤な疾患である。AAAは経胸壁心臓超音波検査（TTE）施行時に偶発的に発見されることが多い。近年、我々の検討においてAAAの進展には動脈硬化による中心血圧上昇が関与し、中心血圧の上昇が更に動脈硬化を増悪する悪性サイクルがあるとの着想を得た。本研究は、中心血圧とTTEを組み合わせることで有用なAAAスクリーニング法の確立を目指す研究である。

対象：2021年4月から2022年4月の間に当院で各種生理機能検査（中心血圧検査、血圧脈波検査）および経胸壁心臓超音波検査を受けられた方

② 利用する臨床情報

性別、年齢、身長、体重、BMI、検査日時、TTE各計測値、CT等画像検査所見、中心血圧各計測値、血圧脈波各計測値、危険因子（高血圧・糖尿病・高脂血症・喫煙・冠動脈疾患等）

※患者さん個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、本研究から患者さんの個人情報が出ることはありません。なお、研究の成果を公表するときにおいても個人情報が漏出することはありませんので、患者さん

んに危険や不利益が生じることはありません。

③ 誰が使用するか(研究実施施設及び責任者(利用する者の範囲、臨床情報の管理責任者))

研究実施機関の名称：山形大学医学部附属病院 検査部

研究責任者：森兼 啓太

利用する者の範囲

氏名： 風間 知之 所属機関： 附属病院検査部 職名： 主任臨床検査技師

④ 研究への利用をやめてほしい場合

患者さんはいつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。

ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。

⑤ 問い合わせ先

臨床情報利用の停止、そのほか質問したいことなどがありましたら、下記の担当者までご連絡ください。

山形大学医学部附属病院 検査部

〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2

連絡先：TEL 023-628-5678 Fax 023-628-5659

E-mail：mxg151@med.id.yamagata-u.ac.jp

担当者：風間 知之